

# 原子力安全の神話

信じられていたこと：

- "放射線 = 超強力な毒素" (放射線恐怖症)
- "政府は事故から我々を守ってくれる" (パターナリズム)
- "我々は、事故を起こした他国とは違う" (傲慢)

ひとたび事故が発生すると、国民は信任しなくなり、パニックが生じる。



新古里原発の展示 (韓国)



仮訳



アリス館志賀の原子力展示

## 福島 "エリートパニック"

エリートパニック = 政府高官や産業界のトップが、国民の混乱を恐れて判断を誤ってしまうこと

例: 菅首相の指揮系統への干渉

一般国民向け啓蒙活動の失敗

- > 放射線に対する迷信に基づく恐怖
- > 国民の混乱



船橋 洋一、「Tesimony」、日本再建イニシアティブ





## 福島における「モラル・パニック」

モラル・パニック = 社会秩序への脅威とみなされたグループに対して発せられる、多数の人々による激しい感情

福島での反応は、人々が以前から持っていた原子力村に対する憤慨の出現。



**Kyle Cleveland, "Significant Breaking Worse," *Critical Asian Studies*, 2014**

